

看護大学生の生化学(代謝学)教育に効果的な教育内容と教授方略

【キーワード：生化学(代謝学)、到達目標、教育内容、教授方略】

領域・氏名

看護人間学Ⅰ 教授／ 菅野幸子

概要

看護学教育の充実に寄与することを目的とし、専門基礎科目である生化学(代謝学)の教育内容と教育方法の検討に取り組んでいます。看護学生が生化学(代謝学)をより本質的に理解し活用できる教育プログラムの構築を目指しています。

具体的な内容

専門基礎は看護実践の根拠となり、学生が可能な限り多くの専門基礎知識を十分に理解できることは大切です。これまで、生化学(代謝学)教育の到達目標の段階的表示に取り組み、いわゆる生化学の枠組みを超えて、生命現象における代謝の意味するところに焦点をあて、“栄養素の「代謝学」”で教授する教育内容と、栄養素の【摂取-自己化-排出】のストーリーで、物質の変化を身体の構造・機能とつなげて具体的にイメージする教育方法により、省察的教育実践を重ねてきました。教育プログラムの有効性について検討しています。

Information (情報)

生化学(代謝学)、栄養学の講義、代謝学・栄養学の実験実習などを担当してきました。生化学、食育、栄養などに関する出前講義が可能です。